

【別紙様式 I】 令和5年度 学校評価報告書

学校名 荻野中 学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】	校長名 土屋 暁子
学校教育目標		学校経営の方針
「豊かな心」「たくましい心身」「正しい判断力」を持ち 自らの生き方を拓く生徒の育成		・思いやりの心の育成 ・確かな学力の向上 ・安心安全な環境づくり ・未来を拓く力の伸長
今年度の重点目標		

・「人権教育」の視点に立った教育活動の推進

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
「心の教育」に関わる取組	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談週間の設定</li> <li>・生活アンケートの実施</li> <li>・人権週間への取組</li> <li>・学年生徒連絡会</li> <li>・学年支援会議</li> <li>・スクールカウンセラー(SC)や元氣アップアシスタントとの連携</li> <li>・ミニケース会議</li> <li>・保護者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導担当及び教育相談コーディネーターが核となって生徒指導、生徒支援に関わる体制を構築した。また、日頃からのこまめな声かけやチャンス相談などを通して生徒とのコミュニケーションを深めるとともに、保護者との連携を密にとることで、生徒の抱えている問題の早期発見とその後の支援、指導につなげている。</li> <li>・生徒アンケート「相談しやすい雰囲気がある」「いじめや差別がない雰囲気」に肯定的な回答がそれぞれ8割であったため、さらにきめ細やかな体制を整えて、指導や支援を行わなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活アンケートや教育相談だけではなく、日ごろからのこまめな声かけ等を通して生徒理解を深め、保護者とも思いを共有しながら生徒指導、支援を行う。</li> <li>・関係機関とも連携を取りながら、指導、支援の体制を整える。</li> <li>・教育活動全般において「自尊心を高め、他者を思いやる心」の育成を図るよう努める。</li> </ul>
「学習指導」に関わる取組	1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律の確立</li> <li>・分かりやすい授業の展開と工夫</li> <li>・「学び合い」や「言語活動」を取り入れた授業展開</li> <li>・少人数授業の実施</li> <li>・学力ステップアップ支援員との連携</li> <li>・ICTを取り入れた授業の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科部会や校内研究会を通して教員相互が学び合うことが、分かりやすい授業の展開と工夫につながった。</li> <li>・2、3年生の数学、3年生の英語の授業で少人数授業を取り入れ、また、学力ステップアップ支援員に1年生の数学、英語の授業補助や昼休みの学習補助をお願いし、基礎・基本の定着を目指している。</li> <li>・生徒アンケート「授業はわかりやすいか」に8割の生徒が肯定的な回答をしたが、全国学力学習状況調査の結果なども踏まえて、学習に不安や課題を抱えている生徒への支援を丁寧に行っていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業参観や振り返りの機会を増やし、授業力向上を目指す。</li> <li>・英語と数学を中心に少人数授業やTT授業を取り入れ、より丁寧な学習支援を行う。</li> <li>・学力ステップアップ支援員と連携し、昼休みの学習会などの学習支援を充実させる。</li> <li>・chromebook等を活用した家庭学習課題を工夫し、学習習慣の定着につなげる。</li> <li>・全職員で「考え、議論する」道徳の授業を工夫し、実践する。</li> </ul>
「保健安全教育」に関わる取組	1・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察</li> <li>・毎日の清掃活動</li> <li>・防災マニュアルの見直し</li> <li>・避難訓練や集団下校訓練</li> <li>・チリリタイムの実施</li> <li>・定期的な設備の安全点検</li> <li>・食の指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の健康観察や学活での健康教育を通し、生徒が自身の心身の健康について考える機会を設けた。</li> <li>・清掃活動を通して校内美化への、給食指導を通して食生活への、それぞれの意識を高めることができたことは、生徒アンケートの、「環境美化に進んで取り組んでいる」「給食時に衛生面に気を付けている」の肯定的な回答が9割であることからうかがえる。</li> <li>・避難訓練などを通して災害に対する危機意識を高められた。今後は、生徒が自ら判断して行動できるような指導を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の環境美化や事故防止を促すような取組を、「生徒の活動グループ」と連携して行う。</li> <li>・避難訓練の在り方を見直し、「予告なし」や「シェイクアウト」といった、生徒が自ら判断して行動できるような機会を設けるとともに、教職員も状況に応じた対応ができるような場を設定し、危機管理能力を高める。</li> </ul>

「生徒の活動」に関わる取組	1・2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動の充実</li> <li>・学級活動の指導の工夫</li> <li>・校内ボランティア活動の活性化</li> <li>・地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動や委員会活動を通して、相互理解を深め望ましい人間関係を構築できるような場を設定した。生徒アンケート「委員会活動に積極的に参加しているか」「自主的に学級活動に取り組んでいるか」の肯定的な回答はいずれも9割を超えている。</li> <li>・校内でのボランティア活動や地域行事への参加を可能な範囲で促した結果、回を重ねるごとに多くの生徒が参加するようになった。課題となるのは、生徒と教職員に過度な負担がかからないような実施方法や参加形態を探ることにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の、学校生活への充実感や学校への帰属意識を高めるために、自主的に活動できる場を多く設ける。</li> <li>・「心の教育」グループと連携して、一人ひとりが大切にされる学級経営を目指す。</li> <li>・諸活動がコロナ禍前の状況に戻りつつあるが、実施内容や運営方法を見直し、今の時代に見合った活動を展開する。</li> </ul>
今年度の学校関係者評価委員会からの意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や授業を参観していただいたところ、生徒が活動に積極的に参加している、また、学習には落ち着いて取り組んでいるとの評価をいただいた。</li> <li>・学校運営協議会で学校評価の報告を行い、今年度の課題と来年度の学校経営方針にご理解をいただいた。</li> </ul>				
今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針				
<p>生徒アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答は84%であり、多くの生徒が学校生活に意欲的に取り組んでいると考えられる。しかし、それは2割の生徒が充実感を得ていないということである。今後は更にきめ細やかな指導や支援を行いながら教育活動の充実を図り、生徒が生き生き活動できる学校づくりを、教職員一同、力を合わせて進めていきたい。</p>				